

令和6年7月から対話型生成AIを導入します

昨年度実施した実証実験をとおして、業務への有効性が確認できたことから職員の事務補助ツールとして、以下のとおり**対話型生成AIを導入**します。



● **利用開始日：令和6年7月22日（予定）**

● **導入部署：全庁**

【主な活用事例】

アイデアの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企画案のアイデア出し ・キャッチコピーのアイデア出し ・アンケート項目作成アイデア出し
文章作成の補助等	<ul style="list-style-type: none"> ・各情報資料等の作成補助 ・各種通知文・事務連絡案作成補助 ・契約書・仕様書案作成補助
Excelの関数やマクロコード等の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelへの多量な入力作業の処理 ・Word、Excel、PowerPointなどPC活用支援
文章の翻訳	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け、子ども向けなど文書表現の調整（書き改め） ・作成した文章の誤字、脱字の確認 ・日本語資料を多言語に翻訳
文章の要約	<ul style="list-style-type: none"> ・発言録、議事録の要約 ・指定文字数・所要時間への文書要約 ・アンケート回答の項目グループ化（ポジティブ意見、ネガティブ意見の自動振り分けなど）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール提案 ・タスクリストの作成 ・市民との会話のシミュレーション など

【期待できる効果】

対話型生成AIの活用により

○ **業務の効率化・迅速化を図る**

○ **市に有効な施策、事業アイデアを創出**

○ **職員の知識、経験などを蓄積**

効果的な行政サービスの向上を図ってまいります。

